

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 25年 8月 29日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3472700297		
法人名	医療法人 みやうち		
事業所名	グループホームひまわり (1階)		
所在地	廿日市市宮内字佐原田4207番地の4 (電話) 0829-38-0793		
自己評価作成日	平成25年7月31日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.jp/34/index.php?action=kouhyou_detail_2012_022_kanji=true&JigyosyoCd=3472700297-00&PrefCd=34&VersionCd=022
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	平成25年8月22日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

平成19年より始めた、二ヶ月に一度の「家族の会」も7年目を迎えました。新入居のご家族もスムーズに参加できますし、職員はもちろんのこと、ご家族のみなさまもユニットごとでなくホーム全体でなじみの関係が保てる程になってきています。また、ターミナルケアにおいても、法人グループとの連携によりご本人やご家族の想いに沿う取組みが継続できています。家族会を中心に皆様の声を聞き、皆様と共有して行くことを大切にして、理念の中にある「安心できる場所」であり続けたいと思います。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

当事業所は、「家族と共に、利用者の安心の場を創り上げる。」と云う管理者の確たる信念に基づき取り組まれた事が、数々の隘路を乗り越えて今では、関係者間の強い絆が生まれ、多方面にわたって素晴らしい成果を生み出している。又、経営母体が医療法人でグループの福祉施設も多数あり、相互の緊密な連携が、安心と信頼を築き上げている。介護保険制度の開始と同時に開設された歴史あるホームと母体法人の充実した支援体制が融合し、ホームの名前「ひまわり」に相応しい、敬慕・敬老・光輝（ひまわりの花ことば）のケアが実践されて、事業所の理念が全体に満ち満ちている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	「その人らしく自由に安心できる場所」を理念とし、共有し毎朝唱和を行っている。入居者様には自由にして頂いている。	事業所内に左記項目の「理念」を掲げ、毎朝、職員全員で唱和すると共に、日々のミーティングにおいても、各利用者の生活リズムの尊重とその人らしい個別ケアの実践を振り返り、理念の共有とその浸透を図っている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	歌・習字・紙芝居などのボランティアの方の訪問があったり、法人の健康フェアで地域の方と顔なじみになったり、また近くの美容院に出掛け交流をしている。	地域ボランティアや同一敷地内にある病院および福祉施設を利用されている人々、職員の知人が来所された時の交流をはじめ、法人主催の「健康フェア」開催など、地域社会との積極的な交流を展開している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	運営推進会議を通じて支援の方法を伝える		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	行事内容や実施状況を伝えたり、アルバムやホームの新聞を見てもらったりしている。会議での意見はカンファレンスにて話し合い向上に向け取り組んでいる。	運営推進会議は、行政・事業所職員・多数の家族の参加を得て定期的に開催され、そこで交わされた議論や諸提案はホームの運営に活かされている。今後は会議の多角的視点から、地域住民など多方面からの参加促進を図るとしている。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	市の相談員の方の定期的な訪問や運営推進会議参加などホームでの状況を報告し協力関係を築くよう取り組んでいる。	市町担当者や地域包括支援センターとは、日常的に様々な機会を通じ緊密な情報交流を行い、良好な連携と協力関係が築きあげられている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束について研修を受けたり勉強会を行っている。日中玄関や裏口など施錠せず自由に出入りされており、17時以降日勤者帰る時閉めている。</p>	<p>身体拘束排除の取組みについては、法人全体の体系的な研修とホーム独自の意識統一も図られ、ハード面においても事業所理念に沿った開放的な取り組みが見られる。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>研修を受けたり勉強会を行い学んでいる。また、日頃より入居者様の身体や行動について見逃すことのないよう取り組んでいる。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>必要時には相談員との連携により支援を行うようにしている。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>ホーム長・相談員より十分な説明が出来ており、不安や疑問点もお聞きし、解消に向け取り組んでいる。2ヶ月に1回ミニ家族会を開きその際にも話し合いを行っている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>苦情箱を設置したり、ミニ家族会や運営推進会議など、話が出来る場を設けている。法人よりアンケートの実施も行っている。その結果を基に話し合いが出来ている。</p>	<p>定期的開催される家族会の運営が、利用者・家族・職員の信頼関係の深まりに寄与し、お互いに忌憚のない意見交換が行われている。家族からの諸提案に対しても運営推進会議等で議論を尽くし、議事録に集約するとともに、事業所運営に活かしている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	カンファレンスや職員会議等話し合いの場を設け、反映させている。	職員会議で出された意見等を法人グループ内の幹部会議で討議検証し、職員の意見が理事長や管理者に確実に届く流れを構築している。ハード面に関する要望も含め明確な結論が迅速に示され、職員の連帯意識の高揚にもつながり、サービスの質の向上に大きく寄与している。	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	給与体制は人事考課によって決められており、個々の努力や実績が反映されている。個々の能力向上を図ることにより、組織全体のレベルアップを目指している。		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	法人内の研修は定期的に行われている。法人外の研修に参加した時はカンファレンスや勉強会で報告出来ている。		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	法人内の親睦会などで他部署との交流が図れている。また、定期的に行われているホーム長会議を通じ他のグループホームとの情報交換を行っている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	入居されるにあたりケアプランを作成する上で困っている事や不安な事を御家族またはご本人より聞き取り、安心して生活して頂けるように努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>入居前に訪問しご家族と面接している。入居後は面会時または2ヶ月に1回のミニ家族会で信頼関係を深めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>入居時までに暫定プランを立てご本人・ご家族が何を必要とされているかを見極め、サービスを提供している。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>日々の食事を共にし、また片づけを一緒に行ったり、希望に応じ買い物を共にしたりと、一人ひとりに合った対応に心がけている。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>面会時やサービス担当者会議で情報を交換し合い、御家族職員と一緒にプランを立てご本人を支えるような関係が築かれている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>知人の面会や顔見知りとの交流を大切にしている。</p>	<p>友人や知人が気軽に来所され、入所前の住まいや近隣の人々の写真を介して会話がはずむなど、馴染みの関係が保たれている。</p> <p>また、散髪屋・美容院、よく出かけた好みの食堂等に出かけ、往時の話に花を咲かせている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。</p>	<p>入居者様同士で歌を唄ったり、会話されたり外のベンチで一緒に日向ぼっこされたり、一人ひとりが関わりを持たれている。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。</p>	<p>退去後も訪問があったり、相談があれば支援を行っている。</p>		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	<p>アセスメントシートを利用しながら日々の生活をしっかり把握し、ご本人の思いを受け止めるように努めている。</p>	<p>入居契約に際し、管理者が各利用者宅を訪問し、利用者の生活歴や生活環境の熟知に努め、入居後の意向把握にうまく繋げ、アセスメントシートに連動させている。その成果が、管理者をはじめ全職員のフェース・トゥ・フェースの温もり感のある対応に現れている。</p>	
24		<p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。</p>	<p>ご本人やご家族に聞いたり、またフェイスシートを活用し職員全体で把握出来ているようにしている。</p>		
25		<p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。</p>	<p>日々の生活はケアプランに沿って生活行動記録に記入し職員全員が把握出来るようにカンファレンスノートにて情報を交換している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>ご本人ご家族の希望等を聞きケアプランを立て、カンファレンスにて情報を交換しサービス担当者会議でご本人御家族と話し合い現状に合ったプランを作成をしている。</p>	<p>介護計画の作成に当っては、3ヵ月毎に見直しを行い、サービス担当者会議において関係職員と家族・利用者の三者が一体となって最適の計画を策定している。モニタリングも職員と家族と一緒にするなど、家族の参画意識の高さが特徴とされる。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>ケアプランに沿って行動記録を記入しており細かな気付きや工夫をカンファレンス等で共有し、また見直しに活かしている</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>一人ひとりに合ったニーズに対応し状態変化に伴いながら取り組んでいる。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>ボランティアの訪問による交流、美容院へ行き楽しまれたり、近くもスーパーへの買い物をする等、最大限に地域資源を活用し生活に張りや潤いがあるように努めている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>併設の病院で受診しており、必要に応じて他の医療機関に受診も出来るように対応している。</p>	<p>運営母体の医療機関（内科・精神科）から定期的往診があり、緊急時は同一敷地内の病院で対応。また、他科（歯科・眼科・整形外科等）については、家族に同伴を願い、従来のかかりつけ医の受診体制をとっている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	<p>日常での気付きや状態変化の有無をほぼ毎日訪問される看護師に相談し異常のある場合は指示をあおぎ受診している。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>ほぼ併設病院に入院が多く、常に相談員を含め情報交換を行い早期退院出来るように努めている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	<p>ご本人ご家族の意向を聞き、その時の状態により再度確認を取りながら、医師・職員・御家族と話し合いを行い連携をとって、取り組んでいる。</p>	<p>医療法人の強みを活かした医療連携によるホームでの終末期対応に、家族からの要望が多い。また、重度化・終末期対応を通じて職員の人的成長も見られ、家族からの更なる信頼度の深化につながっている。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	<p>緊急時の対応マニュアルについては定期的に勉強会を行い実践に繋げている。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	<p>法人内で災害対策は整っている。またホーム内で月1回防火訓練や地震訓練を行っている。</p>	<p>法人全体で災害対策としての協力体制やマニュアル、ハード面は整備されている。また、事業所独自で災害発生時に備えた毎月の避難訓練の実施や食料品等必要物資の備蓄も完備され、今では、利用者自身が避難訓練時に、お互いに声を掛け合いながら避難訓練される姿が見られるとのこと。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	一人ひとりの人格を阻害しないように気をつけて言葉かけ、対応をしている。	全職員の接遇態度から、法人内教育の徹底ぶりも伺われ、相対する方々の人格の尊重、プライバシー保護は言うに及ばず、ほっと寛げる居心地の良い空気を醸し出している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	食事や飲み物の希望を聞いたり入浴なども自己決定できるようコミュニケーションを図っている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	一人ひとりのリズムを職員で把握し無理をせず過ごして頂けるようペースに沿って支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	個々の希望で美容院に行ってもらったり化粧品の購入・服装の声かけなどおしゃれが出来るような声掛けを工夫している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	メニューに季節感を取り入れたり、お祝い事の食事やケーキにも喜んで頂けるように工夫を加えて、誤嚥に留意し乍ら、楽しく会話を交え食事をし、片付けも一緒にやっている。	利用者の希望や手助け・助言を得ながら、手作りの美味しく、心の籠った料理を作り、誤嚥に留意しながら、楽しく会話を交え時間をかけてゆっくりと味わい、利用者・職員ともに、笑顔あふれた食事風景が見られた。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>毎月の体重結果やご本人の状態により、その人に合った量また食材の形態にも細やかに対応している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>食後入れ歯の洗浄、うがい・歯磨き等その人に合った声かけをして口腔ケアをし出来ない方には介助している。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>排泄パターン表を付けトイレの回数や時間間隔を把握し一人ひとりに合わせた声かけ誘導を行い、自立に向けてしている。</p>	<p>トイレでの排泄と不快感・嫌悪感・違和感等の感覚を保持し続ける事を基本として、排泄パターンの把握による誘導・声かけを利用者のプライドや羞恥心を損なわないよう配慮しつつ排泄の自立支援に取り組まれている。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>高齢となり運動への働きかけはなかなか出来ないが食材に食物繊維を取り入れたり、水分には野菜ジュースや乳製品を摂って頂き予防を行っているが下剤を服用されている方が多い。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の場合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>入浴に決まった曜日や時間はなく毎日準備し、入浴できるようになっているが現在自ら希望される方は1名位の為、声かけにより行っている。</p>	<p>入浴は自由に出来る状況下であり、希望者が少ないので職員の声かけや様々な工夫で入浴を促している。利用者の清潔さを保ち且つ職員との対話や身体観察により問題点の発見に努めている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p>	<p>生活リズム・ペースに合わせた休息をとって頂き、自室には馴染みの物が置かれおり安心して休める場所となっている。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	<p>一人ひとりの薬表を制作しており、副作用・用法等記入し、いつでも見れるようにし、理解に努め症状変化についてはカンファレンスにてその都度話し合っている。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p>	<p>生活暦等勉強会を開き、職員間で把握確認を行い、その方に合わせピアノ練習・習字・歌または夕方の鍵確認をもらうなど喜びを感じてもらえるように努めている。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>お盆・お正月にはご家族と食事や希望により散髪に連れて行ってもらったり、買い物希望があれば出掛けたり、協力し外出して頂いている。</p>	<p>日常的には、天候や利用者の体調を考慮し、広い敷地内を散歩しながら、四季折々の草花を愛でたり、家族の協力も得て、名物の「あなご弁当」を宮島近辺に買いに出かけたり、外食やドライブ等の希望に沿った外出支援が適宜行われている。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	<p>ご本人管理で自由にされている方は1名のみ、他は希望される方がいない為職員が管理し、買い物時はご本人に支払いをして頂けるように支援している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	電話・手紙など希望されれば自らやりとりできる様に支援している。		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	共有の空間ではテレビの音量・光・湿度・温度の調節を行い季節に応じた花を飾ったりカレンダーでは四季折々を感じて頂けるように努めている。	共用空間は、華美な飾りを省き、明るく、すっきりとした設営としている。廊下および食堂・居間も広々とした設計で、冬には畳スペースで炬燵に入ったり、ソファでテレビを見たりして、ゆったりと日々を過ごせるよう工夫されている。	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	居間では楽しく話をして過ごせる空間があり、また個々の生活感を尊重できるように畳スペース・テレビを見るソファのスペース等、思い思いに過ごせる居場所がある。		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	居室ではその人らしく生活できるよう、以前より使われたものを置かれたり写真や家族からの手紙・小物を飾ったり、生活レベルに合わせて居心地よく過ごせる様に工夫している。	管理者は、入居の前に利用者の自宅に出向いて利用者や家族と相談の上、平素使い慣れた物や好みの物を持ち込み、居心地の良い居住環境が整うように配慮されている。	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	一人ひとりが混乱せずわかるようにドアに表札を掛けたり、トイレ・風呂も分かるように表示し自立出来るように工夫している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	毎朝職員間で唱和し、その方に合った生活を送って頂けるよう努めている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	ボランティアの方の訪問や外出、法人の健康フェア等で地域の方との交流ができるよう努めている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	研修に参加し、運営推進会議や実習生受け入れにより支援方法を伝えたりしている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	2ヶ月に1度、家族様を含め運営推進会議を行なっている。実施状況など報告したり助言を受けカンファレンスにて職員間で共有している。		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	市の相談員の方が定期的に訪問され、連絡を密に取り協力を得ている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>研修参加や勉強会で理解するように努めている。レベル低下により階段利用できる方がほばいなくなり危険を防ぐため、階段の使用はなるべく避けてもらうようにはしているが、エレベーターを使用してもらい自由に行き来できるようにしている。</p>		
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>研修に参加し、報告するようにしている。また、小さなことでも見過ごさないよう職員間で確認するように意識している。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>現在1名居られる。家族様や相談員を含め話し合い支援している。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>ホーム長、相談員により十分な説明を行なっている。また2ヶ月に1度の家族会で必要時話し合っている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>ミニ家族会や運営推進会議を2ヶ月に1度行なっている。また意見ボックスを設置し職員間で共有し反映させている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	カンファレンスや職員会議を行ない、意見を出し合い反映させている。		
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	人事考課を行っており、各自が向上できるよう努めている。		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	研修に参加し、カンファレンスや勉強会で報告している。		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	他部署の方との交流は親睦会などで図られている。他グループホームともホーム長会議で情報交換し他職員へも報告している。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	入居前面接を行い要望を聞き安心して生活して頂けるよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>入居前面接や入居時に要望を聞き、信頼関係が築けるよう努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>暫定プランを作成し本人様、家族様の要望も聞き、必要とされているサービスを提供できるよう努めている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>洗濯干し食事の片付け等、日々の生活の中で、入居者様1人1人に合った生活を送って頂けるよう努めている。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>面接時や電話などで相談し共に考えたりしながら関係を築いている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>写真を見て頂いたり、電話や手紙などで関係が途切れないよう努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。</p>	<p>居間のテーブルに集まったり、エレベーター前で日向ぼっこ一緒にされ会話されたり歌やゲーム一緒にし関わりが持てるよう努めている。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。</p>	<p>退居後も家族様の訪問があり話を聞いたり必要に応じては相談を受け支援している。</p>		
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	<p>アセスメントシートを利用し情報を得たり本人様や家族様と話をし把握している。</p>		
24		<p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。</p>	<p>本人様や家族様に聞いたりフェイスシートを活用し把握できるようにしている。</p>		
25		<p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。</p>	<p>行動記録や心身の情報シートに記入し、またカンファレンスで情報交換したり、朝の申し送り時、気付きなどを言い合うことで把握している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>本人様や家族様の希望を聞きカンファレンスにてケアプランを作成し、それをもとにサービス担当者会議を開き本人様や家族様と共に現状に合ったケアプランを作成している。</p>		
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>ケアプランに沿った内容をカンファレンスで話し合い行動記録に記入している。職員間で情報の共有し見直しに活かしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>必要に応じて適したサービスが提供できるように他職種の方に相談したりと支援に取り組んでいる。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>ボランティアの訪問や併設施設の交流、近くの美容院やスーパー公共施設を活用し楽しめるよう支援している。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>併設病院で受診しており、必要があれば他の病院に受診するよう適切な対応ができています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	<p>ほぼ毎日、看護師の訪問により情報や気づきを相談しており、併設病院に定期的または異常時、受診している。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院は併設病院が多い為、情報交換や相談が素早く行なえ、早期退院に努めている。日頃より関係者を食事に呼ぶなどし利用者様の把握の為の関係作りを行なっている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	<p>安心して終末期を迎えられるよう早い段階から本人様や家族様と話し合い意向を踏まえ医師と連携し支援している。</p>		
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	<p>緊急時対応マニュアルを整備し職員は応急手当等の研修に参加し、ホーム内でも研修を行ない実践に繋げている。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	<p>毎月、入居者の方々参加のもと防災訓練を行なっている。火災だけではなく、地震を想定した訓練に取り組んでいる。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	常日頃からプライバシーへの配慮に職員間で気をつけ委員会などの接遇面での話し合いもすることで心掛けられるようにしている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	食事の献立や、おやつ時の飲み物の希望、入浴時間、外出等の時間等、自分で決定できるように支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	起床時間や昼間の過ごし方等、その人のペースを大切にし、希望に沿ってその人らしく過ごしてもらっている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	常に整容に気をつけ、服装も本人の希望を聞きながら着てもらっている。その人らしく、お洒落ができるよう、買い物、美容院を含め支援している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	季節の物を利用してのメニューや食事中に会話を取り入れ楽しんで頂き、食事の準備や片付けもできる範囲で一緒にしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>毎月体重測定を行ない状態を把握し，一人一人に合った量にし，嚥下状態に合わせ，刻んだりミキサーにかけ盛り付けも工夫している。水分も食事やおやつ時だけでなく間で声掛けし水分補給して頂いている。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように，毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>食後に歯磨きの声掛けや難しい方には介助で口腔ケアをし，ポリドントも行なっている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>一人一人の排泄パターンをパターン表により把握し声掛けや誘導をしている。体調や状況によって紙オムツから紙パンツ，布パンツへ変更したりして自立に向け支援を行なっている。</p>		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>こまめな水分補給や食事には食物繊維の多い物を取り入れ，便秘時は下剤で対応している。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに，個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>入浴の日や時間は基本決まっていないが，現在1名，希望時夜間にも入浴して頂いている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p>	<p>日中は希望時など自室で休んで頂いたり夜も寝られない時は話を聞いたりし安心できるように支援している。室温、湿度など空調にも気をつけている。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	<p>何を飲まれているか一人一人薬の表をカードックスへ入れ把握できるようにしている。症状や状態の変化を察知したら医師への報告もしている。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p>	<p>一人一人の趣味など把握し、音楽や家事、畑仕事などお願いし気分転換して頂いている。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>玄関は常に開放し1階と2階の行き来は自由にされている。一緒に散歩したり、家族様と出掛けられたりしている。</p>		
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	<p>お金はほとんどの方が管理されることが難しい為、お小遣いとして預かり、買い物時、ご自分で支払いして頂いたり、自動販売機を利用されたりしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	希望時に手伝いながら電話がかけられるようにしている。		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	自室ドアに手作りの季節の飾りを付けたり、窓を開け季節感を感じられるよう工夫している。四季折々の花を食堂や居間に飾っている。		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	食卓、居間のソファ、畳、エレベーター前のソファで自由に日向ぼっこや歌、テレビを見られたりされている。		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	使い慣れた家具を使用され危険のないように置き、居心地よく過ごして頂けるよう工夫している。		
55		<p>○一人ひとりの方を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	自室入り口の表札、お風呂、トイレなど目線に合わせて表札を工夫し作っている。		

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホームひまわり

作成日 平成 25年 9月 28日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	13	申し送りの徹底	報告・連絡・相談を怠らずチームワークの確立	・気になる事は口に出す ・分からない事は確認する ・あやふやなままにしない ・職員間の声掛けを忘れない	
2	12	終末期に向けた支援	その人らしい暮らしを送って頂き終末期を迎える	・本人・家族の意向を聞く ・状態を把握し医師、家族、職員と話し合う	
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には, 自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は, 行を追加すること。